



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ 地域コミュニティを核とした 天栄だからできる少人数教育

2021.4.23



# 教育委員会だより No.117

愛村心（I尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会

## 2021年度のスタート 「チーム天栄」一枚岩となって取り組む

年度末の人事異動により、新たに着任した先生方をお迎えし、新年度がスタートしました。まだまだ新型コロナウイルス感染症拡大予防の中ではありますが、保護者や地域、教職員の皆様のご理解とご協力により、小・中学校、幼稚園で入学式、入園式が無事行われました。今年も例年とは少し異なる4月です。しかし、子どもたちにとって楽しく充実した毎日となるようにしたいものです。そのためには、教職員皆さんが各校・園で一枚岩となって着実に教育活動を進めることが大切です。ぜひとも、各学校・園の目標と達成のための実践事項を今一度ご確認ください。「チーム天栄」の一員としてこれまでの取組を生かしつつ、教育活動を充実させていきましょう。

今年度の教育方針説明会は、リモートで開催しました。「令和3年度 天栄村教育委員会グランドデザイン」で、天栄村の教育充実のための全体像を確認してください。

「村はひとつ、学校はひとつ、願いはひとつ、地域コミュニティを核とした天栄だからこそできる少人数教育」の推進と実現を支える4本柱

- ◆ 天栄型コミュニティ・スクール
- ◆ 愛村心を育むふるさと教育
- ◆ 英語の村てんえい
- ◆ つなぐ教育（幼小中連携）

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止

各学校・園での新型コロナウイルス感染防止のための毎日の取組に感謝いたします。教職員、関係者の皆様のご協力により、天栄村では、今後も、子どもの学習機会が確保し続けられるよう、各学校での感染防止の取組の徹底と保護者・地域と連携した取組をお願いいたします。

### 小中英語 パートナーシップ事業

天栄村は今年度、これまでの英語教育への取組が高く評価され、福島県から「小中英語パートナーシップ推進事業」推進地域に指定されました。事業期間は、今年度から令和5年度までの3年間です。

児童生徒の英語力向上を目指し、拠点校（天栄中学校・広戸小学校）を中心に、協力校（湯本中学校・大里小学校・牧本小学校・湯本小学校）の協力を得ながら、指導方法等の実践研究を行っていきます。

その成果等を広く共有するため、拠点校においては、年に1回授業研究会を開催します。



今年度の幼児・児童・生徒数（4月6日現在）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
広戸小	11	18	10	22	21	17	99
大里小	5	11	6	7	5	7	41
牧本小	12	13	16	12	13	9	75
湯本小	1	0	1	2	0	0	4
小学校計	29	42	33	43	39	33	219
天栄中	44	44	40				128
湯本中	0	2	0				2
中学校計	44	46	40				130
	年少	年中	年長				
天栄幼	24	23	32				79
湯本幼	0	1	0				1

## 生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択できる環境を整え、「愛村心を育むふるさと教育」を目標に取り組んでいます。そうした村民の主体的な学習活動を支援し、習得した知識を地域へ還元できる人づくりを推進していきます。

### ○令和2年度体育協会表彰について

令和2年度村体育協会表彰式が3月26日（金）、生涯学習センターで行われました。今回は新型コロナウイルス感染症対策として、最優秀選手賞以上の3名のみの代表表彰として開催しました。当日は体育功労賞の後藤伸也さん、最優秀選手賞の後藤さくらさん（学法石川高校3年）、岩崎麻知子さん（学法石川高校1年）の3名に、瀬和マユミ会長よりそれぞれ、賞状、記念品の盾が伝達されました。

後藤伸也さんは同協会長を3期6年、スポーツ推進委員を4期8年務めるなど、村の体育振興に尽力されました。また、後藤さくらさんは女子陸上部キャプテンとしてチームをまとめ、東北高校駅伝大会では3区区間賞をとるなど活躍しました。岩崎麻知子さんも東北大会、全国大会で活躍したほか、ふくしま駅伝の1区を走り、村の部区間賞を受賞しました。なお、小中学校の受賞者については各学校より伝達されました。



### ○東京オリンピック聖火リレーについて

3月27日（土）の東京2020オリンピック聖火リレーに本村ゆかりのランナーとして、常松桜さん（県立視覚支援学校高等部3年）が参加しました。聖火リレーは3月25日（木）にナショナルトレーニングセンターJヴィレッジをスタートし、福島県3日目のこの日、第5区間の須賀川市の最初のランナーを務め、沿道の声援に笑顔で応えながら、須賀川市栄町交差点から須賀川橋までの約200mを走り、次のランナーへと聖火をつなぎました。

4月2日（金）には、村長室において添田村長、久保教育長に聖火リレーの参加について報告し、当日使用した聖火トーチやユニフォームを披露していただき、「走っている最中に家族が応援のために鳴らしてくれた鈴の音が聞こえてうれしかった」と感想などについてお話しいただきました。

